

平成 27 年度人間総合科学研究科
スポーツ健康システム・マネジメント専攻
専門科目試験問題

自分が「志望したコース」における A 群、B 群の中からいずれか 1 つの群を選び、その問いにある 2 つの課題について、それぞれ解答しなさい。

(コースの名称)

[スポーツプロモーションコース]

- A 群 スポーツプロモーション領域
- B 群 スポーツマネジメント領域

[ヘルスプロモーションコース]

- A 群 ヘルスプロモーション領域
- B 群 ストレスマネジメント領域

- 注 1) 「志望したコース」とは、出願書類に自分が志望して記入したコース名を指します。コース内においては、A 群、B 群どちらを選択しても構いません。
- 注 2) 解答は、問いのそれぞれの 1 課題に対して答案用紙 1 枚を用いて答えること。なお、裏面への記入および 1 課題に対して 2 枚以上の使用は認められません。
- 注 3) 各答案用紙には、志望研究科名、専攻名、受験番号を指定欄に記入するとともに、最初の行に領域名及び課題番号を必ず明記してください。
- 注 4) 試験終了後、問題用紙、答案用紙、下書き用紙のすべてを回収します。

[スポーツプロモーションコース]

A群（スポーツプロモーション領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）下図の「成人における週1回以上の運動・スポーツ実施率とクラブ加入率の推移」から考えられる、わが国におけるスポーツプロモーションの課題について論じなさい。

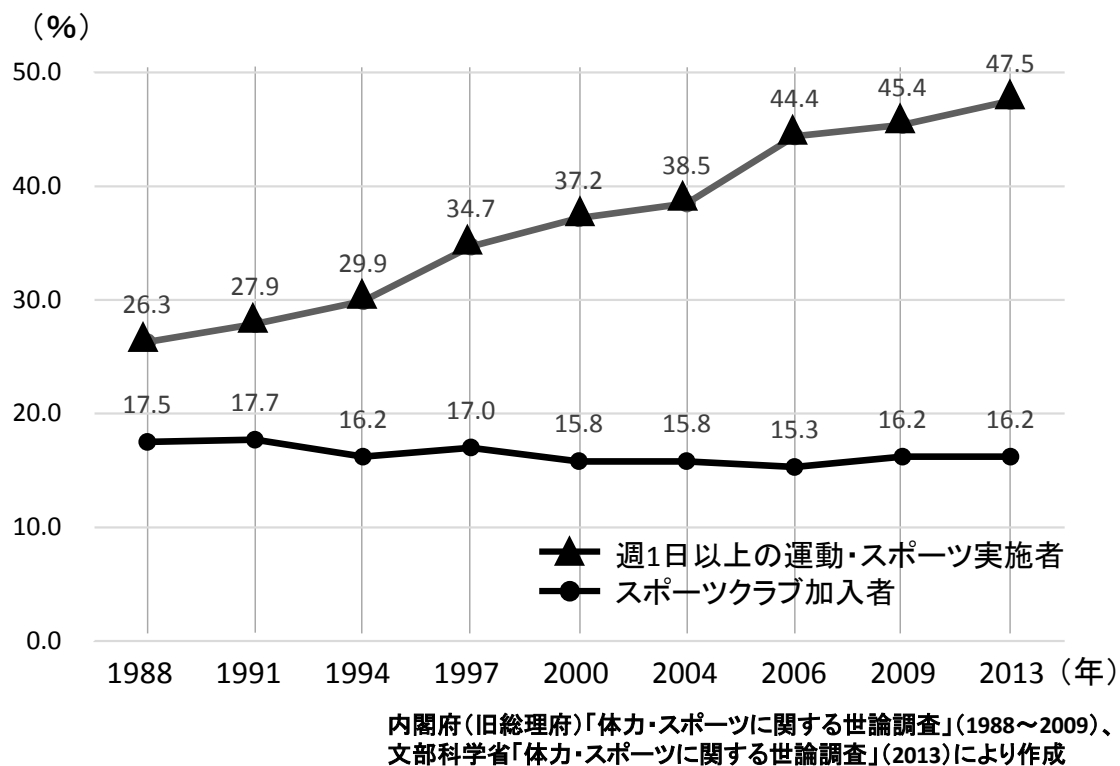


図 成人における週1回以上の運動・スポーツ実施率とクラブ加入者率の推移

課題（2）「スポーツ基本計画」では、旅行先で気軽に多様なスポーツに親しめるスポーツツーリズムを推進することが求められています。そのために必要な施策について説明し、わが国のスポーツツーリズムの現状と課題について事例をあげて論じなさい。

B群（スポーツマネジメント領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）1年間のトレーニングをマネジメントする時に留意すべきポイントをトレーニングの強度と量の観点から論じなさい。

課題（2）機能する情報戦略マネジメントのあり方を、日本のトップスポーツにおける情報戦略の現状からみて具体的に論じなさい。

[ヘルスプロモーションコース]

A群（ヘルスプロモーション領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）第1次健康日本21の成果を述べた上で、課題についても具体的に複数述べなさい。

課題（2）我が国の健康課題における身体活動量増加の重要性を述べた上で、厚生労働省が策定した「健康づくりのための身体活動基準2013」あるいは「健康づくりのための身体活動指針（アクティブガイド）」の趣旨について、具体的に述べなさい。

B群（ストレスマネジメント領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）ストレス耐性に影響を与える要因を3つあげ、それぞれについて説明しなさい。

課題（2）あなたの関心のある保健行動を1つ取り上げ、プロチャスカ(Prochaska J. O.)の行動変容のステージ理論における‘関心期’‘準備期’‘実行期’のそれぞれのステージでの効果的な支援法について説明しなさい。